

第 2 回 下野市総合計画審議会会議録

日 時	平成 23 年 10 月 4 日 (火) 午後 2 時 00 分～4 時 00 分
場 所	下野市保健福祉センターゆうゆう館会議室
出席委員	中村祐司委員、小谷野晴夫委員、吉田聡委員、川口桂子委員、高田憲一委員、本橋利男委員、柴山征吉委員、永山茂夫委員、尾花重吉委員、海老原新子委員、加藤芳江委員、鈴木祐孝委員、三宅義彦委員、田村友輝委員、江田小百合委員、大貫達雄委員、小島恒夫委員、照井一富委員、大塚博委員
欠席委員	石田陽一委員
出席者	板橋昭二副市長、古口紀夫教育長、川端昇総合政策部長、篠崎雅晴総務部長、伊沢和男市民生活部長、田中武健康福祉部長、落合亮夫産業振興部長、大門利雄建設水道部長、高野康男議会事務局長、高橋敏雄会計管理者、鶴見忠造教育次長
事務局	上野清一総合政策課長、星野登課長補佐、金田欣明主幹、古口明宏副主幹、篠原恵主査、古口貴之主査
傍聴者	なし

○次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
- 4 閉会

○会長あいさつ

(中村会長) 今回は、これからの会の中で非常に重要な第 2 回になる。前期基本計画の 1 章から 3 章の構成についてご了解いただき、ご意見を出していただくことになる。今日の審議の内容は、次回の方向性も決めていくことになる。後期計画の全体の枠組みをある程度固める。ぜひご意見をいただきたい。前期計画の協議は圧縮して、後期計画の枠組み、中身を中心に協議したい。

○副市長あいさつ

(副市長) 下野市は今年で合併 6 年目、財政的優遇措置が設けられている合併特例期限の折り返しを迎える。したがって、総合計画後期基本計画は前期基本計画の成果や課題、現在の社会経済情勢や市民のニーズを踏まえ、新市づく

りの総まとめとして策定していくことになる。

昨年実施した市民意識調査、市民懇話会での提言や、パブリックコメントなどの意見を踏まえ、庁内の総合計画策定委員会で計画をつくり、審議会で意見をもらい年度内に策定したい。

現在、日本をとりまく状態は、大震災からの復旧・復興、原子力災害への対応、景気の低迷、政治の混迷などさまざまな課題が山積しており、日本が下向きになっている。また世界経済もかつてない暗雲が立ち込めている。このような状況下の計画作りであるが、本市は多彩な歴史文化資源、充実した交通基盤や地理的優位性、地域医療の充実など、様々な優れた地域資源があり、これらの強みを活用して更に魅力を深めていきたい。

ここに暮らす市民が住んでよかった、住んでいることを誇りに思う、子どもたちがいつまでも住み続けたい、と思うような下野づくりに向けて展望が開けるような計画にしたい。

また、後期基本計画に掲げられた諸事業を担保する財政に関しては、今後の経済状況により、市税や交付税などの一般財源が減少することも考えられるので、将来にわたって持続可能な財政基盤を確立していくことが肝要である。

行財政改革にしっかり取り組み、長期的な財政計画の見通しを立て、持続可能な財政を確保したい。委員の皆様には、忌憚のない意見、提言、方向性を出してもらい、よりよいまちづくりを展開していきたい。

○議事

(中村会長) 会議の成立と会議録の署名委員、傍聴の確認を行う。本日の欠席は石田委員 1 名、過半数出席で会議は成立した。本日の会議録署名は吉田委員と川口委員にお願いする。本日の会は公開する。資料の確認をお願いする。

(1) 前回会議録の確認

(事務局) 第 1 回会議録について説明 (資料 1)
・事前に委員に郵送し修正点はなし。会の終了後に署名をお願いしたい。

(中村会長) 本日の会議の進行について事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) ・はじめに、資料 2 の前期基本計画の進捗状況を説明し、意見をいただきたい。次に資料 3 の後期基本計画、1 章から 3 章まで説明し、意見やご質問をいただく。会議の時間としては 2 時間を予定している。
・資料 2 は前期基本計画の進捗状況で、前期基本計画の点検調査を行い、事業ごとの進捗状況の概要としてまとめたもの。
・資料 3 の後期基本計画の 1 次素案は、市民意識調査、市民懇話会をも

とに現状と課題を分析、方向性をまとめて庁内策定委員会で議論し、後期基本計画案として作成したもの。1章から6章に分かれ、本日は1章から3章まで説明し、4章から6章までは次回に説明する。

・重点プログラムは、最後に具体案を示す。「重点プログラム」を「しもつけ重点戦略」と名称を変えてその考え方をご説明する。

・第1回で示した序論については現在庁内で検討中のため、整い次第示す。

(2) 後期基本計画策定について

(事務局)

前期基本計画掲載事業の進捗状況の概要について説明(資料2)

・前期基本計画の施策事業について、進捗度合を検証することにより、後期計画で取り組むべき方向性や施策事業の見直し等を進めた。

・1ページの「1 はじめに」は全206事業の総括となっている。前期基本計画に掲げた事業は概ね順調に進捗した。

・2ページの「2 進捗の度合い」については、全206事業を第1章から第6章まで表にまとめた。

・3ページからの「3 進捗の概要」には、各章ごとに進捗内容をまとめた。

・5ページからの「4 施策事業の進捗状況」については、全206事業の個表となる。

(中村会長)

前期の基本計画で進捗状況をAからDまで担当が自己(内部)評価している。206事業の相当なボリュームで資料的な価値がある。丁寧にコメントをつけていて、太字下線を引いてわかりやすくしている。ハード面の整備でAが目立ち、ソフトではAが少ない。何か意見があればお願いしたい。

(大塚会員)

資料2の2ページ第1章、図書館・体育施設の管理運営において、指定管理者制度に馴染まない所があるのではないかと懸念がある。2ページ第1章の国際交流の推進では、交流事業参加者の経験・体験が十分活かされなかったとあるが、これはどういうことか。

(総合政策部長)

図書館・体育施設の管理運営について、初めの時点では施設の統廃合を含めて検討した。図書館や公民館は効率性を求めるため、統合に重点を置いたが、統合より管理運営の方法を検討して効率化を図ることが重要と認識した。公民館についても、統廃合の是非について結論に至らなかった。管理運営について、何か改善工夫していく必要があるだろう。他の先進事例を調査しながら取り組んでいく。

国際交流について、交流事業参加者の経験・体験が十分活かされなかったことは、第三者の目から指摘された。国際交流の経験をもとにまちづくりに貢献する取組みに甘さがあった。

- (大塚委員) 交流参加者を小中学校へ巡回させて、子どもたちの前で発表することはどうか。報告して終わりではなく、うまく何か活かせることがあるのでは。
- (中村会長) 前期計画の進捗評価なので、これらを踏まえて後期計画に活かしてほしい。指定管理者については重要な問題である。
- (鈴木委員) 進捗状況の概要は、よくまとめられている。質問事項を20個ぐらい事務局に出すが、その中でも聞きたいのは、C評価が45事業で21.9%とあるが、要因分析はできているのか。
- (中村会長) 資料3について、事務局から説明をお願いしたい。
- (事務局) 1次素案(1章～3章)について説明(資料3)
- ・1 ページで「Ⅱ しもつけ重点戦略」については、後期基本計画の肝となる重要な部分なので、1章から6章まで全て審議いただき、後期基本計画の全体像が見えた後に改めて審議いただく。
 - ・施策・事業のうち、後期基本計画において重点的に取り組むべき施策・事業を分野横断的に抽出し、「しもつけ重点戦略」として設定する。
 - ・3 ページ以降の「Ⅲ 施策の概要」の構成について、「分野別指標」には、各章ごとに各種統計等の中から代表的な指標を掲げている。「現状と課題」には、昨年度、市民懇話会から出された意見書をもとに、市の現状と課題を洗い出し記述している。「基本方針」には、課題を解決していくために必要な市の今後の取り組み、目指すべき目標・成果などを中心に記述している。「満足度」は、18年度と22年度に実施した市民意識調査結果に基づき、市民満足度を表中に5つ星で設定している。「施策・事業内容」には、施策・事業等を列挙し、担当課、進捗度、優先度を記載している。
 - ・3 ページ第1章では、前期計画同様「自ら学ぶ意欲」を分野別指標に掲げている。
 - ・4 ページ(1)次代を担う人材の育成では、課題と基本方針に対し、「幼稚園・保育園・小学校との連携」等を新規事業としている。
 - ・7 ページ(2)生涯にわたる学びの機会の充実では、課題と基本方針に対し、「体育施設の整備・拡充」等を新規事業としている。
 - ・10 ページ(3)豊かに暮らす文化の振興では、課題と基本方針に対し、「文化財展示収蔵施設の整備」等を新規事業としている。
 - ・12 ページ第2章では、前期計画での指標「農業粗生産額」に替えて、「認定農業者経営面積」を指標とする。前期計画の「商業年間販売額」に替わる指標は検討中。
 - ・13 ページ(1)大都市近郊農業の振興では、課題と基本方針に対し、「6次産業化の推進」を新規事業としている。
 - ・15 ページ(2)工業・商業の振興では、課題と基本方針に対し、「雇用対策の推進」を新規事業としている。

・17 ページ(3)シティ・セールスの推進では、課題と基本方針に対し、「地域ブランドの確立」等を新規事業としている。

・18 ページ第3章では、前期計画同様「道路改良率」を分野別指標に掲げている。

・19 ページ(1)秩序ある土地利用と快適な住環境づくりでは、改めて新規事業を掲げていないが、継続事業を中心に着実に取り組んでいくこととする。

・21 ページ(2)人に優しい交通環境の整備では、課題と基本方針に対し、「デマンドバスの運行」を新規事業としている。

・23 ページ(3)うるおいのある緑環境の整備では、課題と基本方針に対し、「三王山地区市有地の整備」等を新規事業としている。

・指標、事業内容等については、現在調整中であり、今後の審議や庁内調整により、追加・修正される場合がある。

(中村会長) 前期の基本計画との大きな違いは、進捗度の評価が盛り込まれていること。「市民協働による開かれた学校づくり」の名称は、資料2の4ページでは「市民協働による教育の推進」と表現を少し変えたのか。読み替え表をつくるべきか。

(事務局) 前期と後期の継続事業でも名称が変更になっているものがある。前期計画では事業名が統一されていなかったが、後期ではすべて事業内容で統一するため、一部事業名を変更した。

(中村会長) 進捗度が入るので、事業名は前期と後期で合うはず。合わせるのは無理か。個人的には、資料2を後期基本計画の後ろにつけてもいいのでは。

(事務局) 前期計画と後期計画の事業名の読み替え表を次回までに用意する。参考資料にするかは検討する。

(中村会長) 進捗度と事業内容が乖離していないか。

(総合政策部長) 前期の事業が後期にどうつながっているのか、わかるような資料を示したい。

(中村会長) 未来志向の事業名に対する過去の評価が出ている。うまく表現してほしい。

(総合政策部長) 記載の方法については内部で検討する。

(中村会長) 構成について、施策の具体的な成果指標を盛り込むのがいいのではないか。あるいは分野別の成果指標をいくつか増やすなど、成果指標の取り扱いをみなさんに聞いてみたい。

(三宅委員) 施策の目的に対して、進捗度合、指標をもう少し整理されてはどうか。管理運営の話にしても、地域におけるその図書館をどういう性格のものにするのか、どういう役割にするのか、それを実現するに当たって管理方式として何がいいかということではないか。もう1つ例を挙げると、兼業農家の補助よりも生産性や所得などが本来の行政の目標で、市民に

意味のある指標がもう少し入らないのか。

- (中村会長) 実際に指標として本来の目的を表すものを何か盛り込めないかということで、満足度に集約したというところもあるが、それだけだと抽象的となる。
- (高田委員) 満足度の星が現状と将来で同じものがたくさんあるが、将来は現状よりもう少し良くてもいいのではないか。
- (中村会長) 一生懸命継続していこうということなのでは。
- (総合政策部長) 限られた財政であり、優先度を考える中で、場合によっては現状を維持することもある。ハード事業については、ある程度事業が終わったものを完了として、特に大きな課題がなければA評価としている。農業用の道路であれば、農業の改善にどのようにつながったか評価する必要がある。それについては実施計画の中で検討したい。
- (中村会長) 成果指標の設定の質、レベルの問題で、指標は本来の目的にあったものか。あとは数が少なくないか。丁寧に限られたスペースで現状と課題、基本方針、満足度を説明しているのは非常によい。表現についてもご指摘があればいかがか。
- (小島委員) 3 ページに写真を挿入とあるが、これはすべて写真なのか。国の白書などではかなりグラフを多様化している。文章だけだと意味がわからない。2 ページのしもつけ重点戦略 1、2、3 とあるが、丁寧に説明して欲しい。
- (事務局) 重点戦略については、まだ本決まりではなくて設定の考え方のみ示したものの。改めて審議してもらいたい。
- (中村会長) すべての施策をどこかでカバーしなければいけない。序論にグラフは出るのか。
- (事務局) 写真のほかにも必要であれば入れて、ビジュアル的にも見栄えがよい計画としたい。
- (小島委員) 地域資源の中で、自治医科大学の知的財産の活用をもっと打ち出すべき。知的財産の活用が進めば、シティーセールスにも貢献する。
- (中村会長) 前期の都市構想で、自治医科大学を強調されているが、もっと強調してもいいのでは。
- (川口委員) 5 ページの「教育内容の充実」で、「教育委員会事業の点検・評価」が新規となっているが、既に実施されているので新規ではないのでは。
- (事務局) 新規の中には前期計画中に始まっている事業もある。それについては、注釈で「※前期基本計画に掲載されていない事業は、後期基本計画において、すべて新規扱いとして掲載しています」と入れているが、他の標記方法があれば参考にしたい。
- (中村会長) 前期計画では、E F 評価の事業は掲載しなかったが、後期計画ではそのように判定された事業も載せた方がいいのではないか。
- (大塚委員) 大震災に関連した問題が起こっていること踏まえて、市民に安心して暮

らしてもらえるように、優先順位等つけて計画をつくる必要がある。
(中村会長) 序論等については、あとでということ。大事なものは構成。進捗度を入れて事業名についてはできるだけわかるように、変えたことをわかるようにあわせる。成果指標については、成果指標の質、レベルを考え直してほしい。数も分野ごとに1つではなく、重点戦略にあげた施策に入れるとか。資料3の構成について概ねこれをお願いしたい。委員の意見を参考に、検討して次回示してほしい。

○その他

(事務局) 鈴木委員から出た質問事項について次回に回答内容を示す。
今後の会議日程について、第3回審議会が、11月2日火曜日の午前9時30分から、第4回審議会が11月22日火曜日の午後2時から、いずれもこちらの会場。次回は、基本計画の4章から6章までについて審議をしていただきたい。第4回は、計画書全体、序論の部分、基本計画の1章から6章の全体のご意見をいただきたい。重点戦略は、翌年1月の第5回審議会に間に合うように作業を進めたい。第5回、6回の日時は調整が済み次第、連絡する。

以上

会議の経過を記載し、相違がないことを証するためにここに署名する。

平成 年 月 日

会 長

署名委員

署名委員